

科目名	現代社会と経済 A Modern Society Economics A						
科目担当者	緒方 哲 OGATA Satoshi						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 人間形成] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 人間形成]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>地域や国の経済は、当該地域や国に居住する人々の生活や拠点を置く企業等の活動の積み上げから成り立っており、地域や国の経済を理解するためには、社会形態の一つである人々の日常生活や企業の日常活動を理解することが大切です。</p> <p>「現代社会と経済 A」では、「みやざき」という地域社会・経済を学修対象として、宮崎県職員として培った経験や知識、ものの見方・考え方を踏まえ、その現状と課題を経済的視点に立って考えていきます。具体的には、社会と経済の変化をもたらす基本的要因である「人口動態」等を確認したのち、「みやざき」の経済構造を分析し、その背景にある現代社会の動きや抱える課題を学修します。</p>						
授業の到達目標	<p>①人々の生活や企業の行動が経済構造のどこに位置するのか考える習慣づけができていること</p> <p>②県民所得の向上という目標に対してどのような行動をとれば良いか説明できること</p> <p>③私たちが属する地域社会の何が課題となっているのかを自ら探り、解決策を提案できるようになること</p>						
授業計画・内容	1	授業の心構えとガイダンス					
	2	現代社会と経済の登場人物					
	3	人口動態を学ぶ					
	4	人口減少がもたらす社会・経済への影響					
	5	宮崎県が直面する3つの格差（東京一極集中、九州内の東西格差・南北格差）					
	6	宮崎県経済の全体像					
	7	宮崎県経済の需要のしくみ					
	8	宮崎県経済の供給のしくみ					
	9	宮崎県経済の総生産（推移、全国シェア等）					
	10	宮崎県経済の分配（県民所得、最低賃金、生涯賃金等）					
	11	宮崎県経済における県際収支					
	12	宮崎県経済における稼ぐ力の方向性					
	13	宮崎県経済の主要な担い手（中小企業、地域金融等）					
	14	宮崎県中小企業の経営者は何を考えているか					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	予め講義資料の概要等を配布し、小テストやレポートを課する。（毎週2時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義に使用した資料等を踏まえ、小テストやレポートを課する。（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験					60%	①、②、③
	授業外学修（事前学修）					20%	①、②、③
					20%	①、②、③	
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	サクサクと読み解く地域経済の勘どころ（緒方哲：鈺脈社）						
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・「みやざき」は可能性に満ちている（緒方哲：鈺脈社） ・外貨を稼ぎ循環をおこす（緒方哲：鈺脈社） ・日本には二つの国がある（大村昌弘：紀伊国屋書店） 						
その他							